

「子供の声が響く福島」を—

日頃は、皆様からの温かなご支援、御指導を賜りまして、まことにありがとうございます。

さて、私が、市議会議員1期を含めて、政治の場に通っていただいてから、25年の歳月が経ちました。その間、皆様の声、地域の声を政治に反映し、「日本一、住んで良かった、生まれてよかった福島」を育てることを目標に努力を重ねて参りましたが、四半世紀を大過なく活動して来れましたのも、皆様のお支えのたまものと、心から感謝申し上げます。

東日本大震災と原発事故—ようやく破壊から立ち直っても追って来る放射性物質の問題、そして風評被害—と苦しめられた私達を、令和元年に台風、一昨年、昨年と続いた地震、そしてコロナ禍が襲いました。3年半に及ぶウィルスとの闘いは、ようやく終わりが見えて来たようですが、油断はできません。自然



災害、パンデミックは予告も無く襲ってくることを私達は思い知らされました。それらに対応する強固な「備え」を、しっかり築いてまいります。

私の大好きな和歌があります。万葉の歌人・山上憶良が詠んだものです。

「しろがねも黄金もたまもなにせむに まされる宝子にしかめやも」—どんな財宝よりも、子供に勝る宝は無い、と。千三百年余の昔に詠まれた歌ですが、いつの世も、「子は宝」です。増して少子化が進む一方の今日、「子供の声が響く福島」をみんなで力を合わせて創ってまいりましょう。「住んで良かった、生まれてよかった福島」を旨として、私も全力を尽くしてまいります。今後とも、一層のご支援、御指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

西山尚利

にしやま尚利プロフィール

- 1965年(昭和40年)2月26日、土湯温泉町に生まれる。実家はラーメン屋。人情豊かな町で幼少期を過ごす。
- 市立土湯小学校・西信中学校、県立福島東高(第一期生)を経て法政大学経済学部を卒業。
- 木下工務店で宅地建物取引主任者として9年間、住宅不動産営業に携わる。
- 平成8年5月帰郷。白河で代議士秘書として、政治の基礎を学ぶ。
- 平成11年福島市議会議員(1期)・平成15年福島県議会議員(4期)を務める。
- 母、妻、子供3人(20才・17才・15才)と6人暮らし。
- 趣味 テニス、詩吟、阿波踊り
- 座右の銘 未見の我

現在の役職

- 福島県私立幼稚園・認定こども園PTA連合会理事長
- 福島市私立幼稚園保護者連合会会長
- アイリス学園理事
- 粹桜坂吟詠会会長(詩吟)
- 土湯温泉観光協会顧問
- 福島県交通安全施設業協同組合顧問
- 福島エフシー建設業協同組合顧問
- 社会福祉法人誠信会理事
- NPO法人梨の里理事
- 社会医療法人秀公会理事
- 福島県東北相撲協会会長
- 自民党福島県連幹事長
- 福島あわおどり協会顧問
- 福島県立視覚支援学校・聴覚支援学校福島校後援会会長



豊かな福島・誇れるふるさとを育てます



なおとし
にしやま尚利

連合後援会

〒960-8166 福島市仁井田字中川原59-5
電話 024-529-7836 FAX 024-529-7837

日本一、住んでよかった・生まれてよかった福島を創ろう。

■活気あふれる県都・福島を築きます。

●相馬一米沢を結ぶ東北中央自動車道が全線開通しました。大笹生インターに誕生した「道の駅」には、地元自慢の産品が並び、こども広場、ドッグランも設けられています。ここを、福島県の西の玄関として、福島の花、果物、温泉、蕎麦、餃子などと、お隣の山形、宮城などの近隣市町村の魅力も併せて発信、県内外の交流を深める拠点として育てていきます。

●福島駅前の再開発を進め、誇りある県都の新しい顔を創ります。

●今年4月1日、双葉郡浪江町に、福島国際研究教育機構（エフレイ）が設立されました。ここに、日本中、世界中の科学者が集まって、環境・農業・ドローン・水素・再生可能エネルギー・廃炉・放射線などの研究を行います。ここに、医療機器・部品生産受注額日本一の、福島県内企業の技術が協働。研究、産業、復興を担う力となります。併せて子供達の教育との結びつきのモデルづくりを進めながら、未来を創るこの取り組みを、世界に発信していきます。

■未来を担う子供達を守り育てます。

●この4年間で「児童虐待防止条例」「受動喫煙防止条例」を創りました。家庭、学校、警察、行政、地域社会が丸となって、子供の安心・安全を守っていきます。

●ヤングケアラーの実態を把握し、学校、行政、地域社会との連携で、支援していきます。

●英語教育に力を入れ、英語を「母国語」とする教員を増やしてきました。現在、会津大学では、教員の4割が外国人で、授業も卒業論文も英語です。IT環境も発達し、よりいっそう国際化が進む今、海外研修にも力を入れ、英語で自在に意思疎通の出来る若い世代を育てていきます。

■女性が活躍できる場を広げます。

●女性がもっと政治に関心を持ち、政治に参画して、女性の視点で政策を実現することを目的に、「女性議員地域政策研究会」を立ち上げました。農林業・商業・工業・観光業・IT関連、保育・教育・介護などについて、論議を尽くしながら、女性の活躍の場を広げていきます。

●女性議員を増やすための支援を続けます。

■高齢者の社会参加を進めます。

●「全国に誇れる健康長寿県ふくしま」をめざして、食・運動・社会参加を三本柱に、健康づくりを進めています。社会参加の一つとして、子ども食堂、放課後児童クラブのサポート、登下校の見守り、地域ボランティアなどで、豊かな地域社会づくりに協力していただきます。

●専門的なキャリアー医療、介護、教育、技術など一を持つ高齢者の活躍の場を広げて、進む“人手不足”のサポートともなるシステムを構築していきます。

■豊かな農林業を育てます。

●この春、福島大学食農学類と、福島県林業アカデミーの第一期生が社会に巣立ちました。伝統と現代の最先端技術を学んだ卒業生が、現場で活躍しながら、後輩の目標になりー福島県の豊かな農林業を育てる力となっていきます。

■医療の充実を図ります。

●3年以上続いたコロナ禍では、マスク、ワクチン、治療薬で、日本は世界に後れを取りました。次の流行にしっかり対応するため、県では、感染管理認定看護師（感染症を専門に学んだ看護師）を、今年9月から養成しています。

●令和3年4月、福島駅前に開設された、県立医大保健科学部では、医療現場を支える医療補助のプロ（理学療法士、診療放射線技師など）を育成、医療・介護体制の「備え」と、充実を進めていきます。



▲令和4年3月地震 知事緊急申し入れ ▲自民党女性局北海道・東北ブロック会議



▲令和4年5月 福島ロボットテストフィールド調査



▲幼稚園の運動会で



▲令和5年2月 議会代表質問



▲令和4年5月 福島第一原発調査



▲令和4年5月 原子力安全対策課榎葉町駐在を訪問



▲元気な子供たち、すくすく育て！



▲後援会女性部の皆さんと

